



## だい かい こうはん おし 第2回公判のお知らせ！

だい かい こうはん にってい けてい  
第2回公判日程が決定しました。

たたかいをともに  
ぜひ、闘いを共に！！

ねん がつ にち もく  
2003年12月18日(木)

ごぜん じ  
午前11時より

とうきょう ちほう さいばんしょ ごとく ほうてい  
東京地方裁判所 626号法廷

たたか はじ つうしんだい ごう へいせい  
いよいよ闘いは始まりました。この通信第2号では、いよいよ平成1  
ねん じゅうがつ にち ぶんきょう おこな だいいちかいほうこく  
5年10月31日に文京シビックセンターで行われた第一回報告  
しゅうかい じゅういちがつ むいか だいいちかいこうはん ないよう おし  
集会についてと、11月6日の第一回公判の内容をお知らせしま  
す。

# 七生福祉園溺死事件を明らかにする会 第 1 回報告集会 ～ 事件の本質を追及する～

2003.10.31 in 文京シビックセンター

参加者は私達の想像以上に多く、障害をもつ当事者、支援者、障害児  
・者の親、マスコミ関係者、施設職員の方、その他、幅広い立場の方が  
この事件に関心があることがわかりました。

## 第 1 部「基調報告」

1. 事務局より事件の概要と会発足の経過説明をしました。

2. 訴訟への経緯と訴訟の争点として大石剛一郎弁護士、黒寄隆両  
弁護士から説明をしていただきました。



事件の問題点と訴訟の争点の説明  
(写真右 大石弁護士・左 黒寄弁護士)

## 3. ご両親からの決意表明

進さんの母親の陽子さんより、「こうやって集まっていたいて、この子  
のみなさんに対する力はすごいなとわかりました。私はいつもかばんに  
入れています。この子は私の生きる先生だった。この子が死んで私は  
どうしたらいいかわからなくなっています。みなさん力を貸してください  
お願いします。」と闘いへの固い意志を話されました。

#### 4. 呼びかけ人アピール



ぜんこく よ 呼びかけ人 みな  
全国の呼びかけ人の皆さん

よ 呼びかけ人 うめはら しゃしんみぎ  
呼びかけ人の梅原さん(写真右)

いしだ しずおか  
石田(ピープルファースト 静岡)

「静岡でも金谷町事件と言うのが起きています。大阪ではサングループ事件、北海道でも札幌育成園事件、こんなに事件がたくさんあっていいの。」

やまだ おおさか  
山田(ピープルファースト 大阪)

「2度とこういう事件が起こらないようがんばっていきましょう。」

みやた おおさか  
宮田(ピープルファースト 大阪)

「最初にこの事件のことを聞いてびっくりしました。」

ますだ ちばけん  
増田(千葉県)

「結果的に言うと日本の施設でやっていることは全部密室での指導であって、こういったことを1つ1つ明らかにしていきたいと思います。」

うめはら おおさか  
梅原(ピープルファースト 大阪)

「大阪で考えました。どうしてこういう事件がおきるのか。介護者が付いていたら大丈夫やと思うのに。だから僕は職員が悪いと思います。職員がしっかりしてたらこういう事件は起こりません。だから職員はもっとしっかりして下さい。」

と、強烈なアピールがありました。

## 第 2 部 シンポジウム ( テーマ... 事件の本質を追及する )

### \* シンポジスト ( 敬称 略 ) \*

まつともりょう し ぜんにつぼんしゅ いくせいかい  
松友 了 氏 ( 全日本 手をつなぐ 育成会 )

いちかわかずひこ し ちがさき せんもんがっこう  
市川 和彦 氏 ( 茅ヶ崎リハビリテーション 専門 学校 )

おだじま えいいち ひがしくるめ じむきょく  
小田島 栄一 ( ピープルファースト 東久留米 ・ 事務局 )

すえながひろし しりつせいかつ  
末永 弘 氏 ( 自立生活センターグッドライフ )

コーディネーター 寺本 晃久 氏 ( ピープルファースト 東京 )



### シンポジウムの様子

#### • 小田島は...

「やっぱり施設はこういうでっかい事件があります。七生も僕がいたころは無かったんだけど、僕が出てから事件がいっぱい起きています。親が施設に入れちゃうからこういうことが起きるんじゃないかと僕は思います。こんなことが施設でたくさん起きるなら僕は非常に辛い立場です。どうして親は施設に入れるのか、親の会が施設に入れてる。」  
と、七生福祉園への怒り、また、そういった入所施設に入れられてしまう事に対する強い怒りをシンポジウムの出だしに話しました。

すえながし  
・末永氏は…、

「七生福祉園では4年間<sup>ねんかん にん</sup>で3人<sup>りようしゃ な</sup>もの利用者<sup>けん</sup>が亡くなっているが、いずれの件<sup>けん</sup>についてもきちんとした調査<sup>ちようさ</sup>もせずに「過失<sup>かじつ</sup>はなかった」ということを言う。その他の事件<sup>そのた じけん</sup>についてもとにかく責任<sup>せきにん</sup>を回避<sup>かいひ</sup>するという姿勢<sup>しせい</sup>だけが一貫<sup>いつかん</sup>してある。健康<sup>けんこう</sup>管理<sup>かんり</sup>という理由<sup>りゆう</sup>でビールやコーヒーは制限<sup>せいげん</sup>する。しかしほんとうに必要な安全管理<sup>ひつよう あんぜん かんり</sup>は全く<sup>まった</sup>やっていない。職員<sup>しよくいん</sup>も課長<sup>かちょう</sup>園長<sup>えんちょう</sup>も誰も責任<sup>せきにん</sup>を取らない。だから又<sup>また</sup>事故<sup>じこ</sup>が起きる。今回<sup>こんかい</sup>責任<sup>せきにん</sup>を明らかにしないと又<sup>また</sup>次の犠牲者<sup>ぎせいしゃ</sup>が出る可能性<sup>かのうせい</sup>がある。施設<sup>しせつ</sup>という所<sup>ところ</sup>はこのように私<sup>わたくし</sup>たちの普通<sup>ふつう</sup>の感覚<sup>かんかく</sup>では全く<sup>まった</sup>考えられないことが行<sup>おこな</sup>われています。」  
と話<sup>はな</sup>し、他にも職員<sup>しよくいん</sup>による利用者<sup>りようしゃ</sup>への暴力<sup>ぼうりよく</sup>事件<sup>じけん</sup>があったことなど、七生福祉園<sup>ななおふくしえん</sup>の数々<sup>かずかず</sup>の問題<sup>もんだい</sup>事件<sup>じけん</sup>などを話<sup>はな</sup>されました。



ぜんにつぼんしゅ いくせいかい たちば  
全日本手をつなぐ育成会の立場で

こた まつとも し  
応えていた松友氏



しせつしよくいん ぐたいてき ひつよう ぶぶん はな  
施設職員<sup>しせつしよくいん</sup>の具体的<sup>ぐたいてき</sup>に必要な部分<sup>ひつよう ぶぶん</sup>を話す

いちかわ し  
市川氏

まつとも し  
・松友氏は…、

「入所<sup>にゅうしょ</sup>施設<sup>しせつ</sup>はもはや必要<sup>ひつよう</sup>悪<sup>あく</sup>としての位置<sup>いち</sup>づけしかない。3年間<sup>ねんかん</sup>で通過<sup>つうか</sup>できると言われてそれに期待<sup>きたい</sup>した。しかし実際<sup>じつさい</sup>にはそうではなかった。それはまちが間違い<sup>まちが</sup>だった。これからは明確<sup>めいかく</sup>な目標<sup>もくひよう</sup>を持って収容<sup>しゅうよう</sup>施設<sup>しせつ</sup>を減<sup>へ</sup>らしていく。だからそのひとり<sup>ひとり</sup>として私<sup>わたくし</sup>も息子<sup>むすこ</sup>を出すことにした。施設<sup>しせつ</sup>が良いか悪い<sup>わる</sup>か以前<sup>いぜん</sup>に親<sup>おや</sup>が期待<sup>きたい</sup>しているようなものではないんです。」  
などと、小田島<sup>おだじま</sup>の質問<sup>しつもん</sup>や会場<sup>かいじょう</sup>からの声<sup>こえ</sup>に対し、全日本手をつなぐ育成会<sup>ぜんにつぼんて</sup>として、自己<sup>じこ</sup>批判<sup>ひはん</sup>も含め入所<sup>にゅうしょ</sup>施設<sup>しせつ</sup>の増加<sup>ぞうか</sup>の歴史<sup>れきし</sup>とその誤<sup>あやま</sup>りについて話<sup>はな</sup>されました。

・ 市川氏は、いくつか率直な疑問点を取り上げ、さらに...、  
「1, 1つの事件・事故が起きたら徹底的に分析、事例検討をやってリス  
ク マネジメントをすること。2, 鹿児島のみひかり園という施設で、園長  
が暴力で逮捕された事件の第2回公判が10月20日にあつて、その  
施設で働いていた現場の職員が証言に立ちました。これは1つの大  
きなきつかけになると思ひます。施設の中を一番見れるのは職員、それ  
と利用者です。これからこういう職員がでてくることを期待していま  
す。」

と、これからの施設に必要な部分を具体的に提案されました。

### 会場からの声

- ・ 「僕は地域支援をずっとやってきましたけど、僕は施設なんか無いほう  
がいいと思ひています。施設は解体したほうがいいと思ひています。」
- ・ 「東京都や育成会が運営している施設はどれくらいありますか？」
- ・ 「ピープルファーストのスローガンは3つあります。1, 少し助けてく  
れば何でもできる。2, どんな障害があつても人間だ。3, 地域  
で暮らそう」  
などと、当事者の強い意志、親の会や入所施設に対する怒りなどが次々  
とでました。

2時間という短い時間でしたが、集会に集まった方々皆様が、それぞれ  
の立場で、この七生福祉園溺死事件を改めて追及することの必要性を考  
える内容になりました。

お忙しい中、集まって下さつたみなさま、  
本当にありがとうございました！！

# じゅういちがつ むいか き だい かい こうはん おも ないよう 11月6日(木)第1回公判の主な内容

いか おおいし べんごし ぶん  
(以下、大石弁護士の文になります)

じゅういちがつ むいか ごぜん じはん とうきょう ちほう さいばんしょ ごう ほうてい ななお  
11月6日午前10時半～、東京地方裁判所626号法廷で、七生  
ふくし えん じけん だいいち かいめ さいばん おこな さいばんしょ げんこくがわ  
福祉園事件の第一回目の裁判が行われました。裁判所が、原告側の  
そじょう たい ひこく がわ とうべんしょ ていしゅつ  
訴状とこれに対する被告ら側の答弁書について、提出されたことを  
かくにん  
確認しました。

ピープルファーストの人たちを含め、たくさんの傍聴人が来ていま  
した。そのせいか、裁判官の裁判の進め方が普通よりもていねいだった  
き  
気がします。

ひこく ななお ふくし えんがわ とうべんしょ おおざっぱ おや すすむ  
被告七生福祉園側の答弁書は、大雑把にいうと、「親は、進さんに  
しゅ や しせつ ななお ふくし えん あず ねんかん くろく  
手を焼いて施設(七生福祉園)に預けたくせに、18年間も苦勞して  
すすむ せわ しせつ うった なにごと ないよう  
進さんの世話をした施設を訴えるとは何事だ」という内容でした。  
ななお ふくし えん じぶん しごと いみ お じこ ふか かんが  
七生福祉園は自分の仕事の意味や起きた事故のことを深く考  
はんせい  
え反省したりするつもりはないようです。

ひこく ほけん かいしゃ とうべんしょ おおざっぱ かんぱつ さく  
被告AⅡ(保険会社)の答弁書は、大雑把にいうと、「てんかん発作  
げんいん くすり ふくさよう げんいん  
が原因だったにせよ、薬の副作用が原因だったにせよ、どちらにし  
すすむ じしん からだ げんいん  
ても、進さん自身の体のことが原因だったわけだから、こういう  
ばあい ほけん お ないよう すすむ しいん  
場合には保険は下りない」という内容でした。進さんの死因は、お  
ふる なか できし かんぱつ さく くすり ふくさよう な  
風呂の中での溺死です。てんかん発作や薬の副作用で亡くなった  
わけではありません。しょうがい くすり ふくさよう かんれん たい  
障害や薬の副作用に関連して(それらに対す  
るケアがふじゅうぶん じこ じけん お ほけんきん  
は下りないことになっているのでしょうか。本当にそんな保険金なの  
お  
でしょうか。

さいばんかん にん さいばんちょう げんこくがわ わたくし なに  
裁判官は 3 人いました。裁判長は原告側（私 たち）に、「何をして  
いれば事故は防げたのか、ということについて、もう一度詳しく準備  
書面で書いて来てください。保険会社の言い分に準備書面で反論し  
てください。12 月 5 日までに準備書面を出してください。」と言  
いました。さいばんちょう ひこく ななお ふくし えんがわ ななお ふくし えん  
裁判長は被告七生福祉園側には、「七生福祉園としての、この  
事件の見方について、12 月 12 日までに、詳しく準備書面で書い  
て出してください。」と言いました。

じかい きじつ じゅうにがつ にち ごぜん じ とうきょう ちほう さいばんしょ ごうほうてい  
次回期日は 12 月 18 日午前 1 時 ~、東京 地方裁判所 626 号法廷で  
す。ぼうちようかんげい  
傍聴 歓迎です。

## じかい だいに かい こうはん けつてい 次回第二回公判決定

じゅうにがつ にち ごぜん じ とうきょう ちほう さいばんしょ ごう ほうてい  
12 月 18 日午前 1 時 ~、東京地方裁判所 626 号法廷  
ななお ふくし えん たい てつてい せきにん ついきゅう おこ  
七生福祉園に対し徹底責任追及を行ないます。

こんご みなさま おうえん ひつよう  
今後、皆様の応援が必要です。

ぜひ、とも たたか こと しえん こと おねが  
ぜひ、共に闘う事、支援する事をお願いします！！

### じむきょく 事務局より

- とうべんしょ など 詳しい資料を必要とされる方は事務局まで御  
れんらく くだ  
連絡を下さい。
- しせつ での じけん 事故に関する じょうほう 情報を事務局で集めてい  
ます。過去にあった事故等に関する じょうほう 情報をお持ちの  
じむきょく  
事務局までご連絡下さい。



さんどう にん おねが  
**賛同人・カンパのお願い**  
ななお ふくし えん できし じけん あき かい もくてき  
「七生福祉園溺死事件を明らかにする会」の目的

ねんかん にん りようしゃ な ななお ふくし えん せきにな  
4年間に3人もの利用者が亡くなった七生福祉園の責任  
あき こんご ぜんこく にゅうしょ しせつ ぎせい りようしゃ  
を明らかにし、今後全国の入所施設で犠牲になる利用者  
ひとり  
を1人でも減らすこと。

ななお ふくし えん じけん しせつ けつ あんぜん  
七生福祉園の事件をきっかけにして、施設は決して安全  
な場所ではないということを多くの人に知ってもらうこと。

しせつ じぶん きぼう おや きぼう はい  
施設にはみんな自分の希望ではなく、親の希望で入っ  
とうじしゃ しえん しゃ おや  
ています。だからこそ、当事者や支援者だけでなく、親たち  
しせつ かんが  
にも、もっと施設のことを考えてもらうこと。

こういったことから、もうこれ以上入所施設に入れさせら  
とうじしゃ ひとり ふ  
れる当事者を一人でも増やさないようにすること。

かい しゅし さんどう ほう ぜび さんどう にん さいばん  
この会の趣旨に賛同される方は、是非賛同人になって、この裁判を  
とも たたか くだ  
共に闘って下さい。そして、この裁判や施設の問題を、多くの関係  
さいばん しせつ もんだい おお かんけい  
機関に知らせて下さい。

さいばん しえん かつどう しきん ひつよう つの  
裁判支援には、活動資金が必要です。カンパを募っておりますので、  
ごきょうりやく おねが  
御協力をお願いいたします。

ふりこみ さき  
**カンパの振込先**

ぎんこう ひがしくるめ してん ふつう  
みずほ銀行 東久留米支店 普通 8051871

こうざ めいぎ  
**口座名義**

ななお ふくし えん できし じけん あき かい だいひょう おだじま えいいち  
七生福祉園溺死事件を明らかにする会 代表 小田島栄一

- 七生福祉園の注意義務違反を徹底追及するぞ！
- 七生福祉園は過失を認め、正式に謝罪せよ！
- 入所施設の実態を明らかにするぞ！
- もう、入所施設にはいれさせないぞ！
- 誰もが地域で当たり前前の生活ができるように、  
当たり前前の子育てができるように、  
地域生活支援の基盤作りをするぞ！

#### へんしゅう こうき 編集 後記

つたな へんしゅう ようしゃくだ  
拙い編集 ご容赦下さい。

だいいちかいこうはん さい とうきょうとしゃかい ふくし じぎょうだん だ とうべんしょ  
第一回公判の際、東京都社会福祉事業団の出した答弁書は  
ほんとう  
本当 にひどいものでした。

たたか む あらた ちから けっそく おも  
闘いに向けて、改めて力を結束していきたいと思います。



へんしゅう ななお ふくしえん できし じけん あき かい じむきょく  
編集 / 七生福祉園溺死事件を明らかにする会 事務局

れんらくさき  
連絡先 / 〒203 - 0014

とうきょうと ひがしくるめし ひがしほんちょう たき ない  
東京都東久留米市 東本 町 14 - 7滝ビル 1Fグッドライフ内

TEL 0424 - 77 - 8384

FAX 0424 - 77 - 8394

MAIL nanaojiken-kai@smile.ocn.ne.jp

HP <http://www.eft.gr.jp/nanaojiken-kai/>